

活動報告書

今月の主な活動



9月5日に東京ビッグサイトで行われていたギフトショーに視察に行ってきました。
なにかシルクと結び付けられる商品アイデアはないものかと各ブースを覗いてみましたが、実際にシルクを使った製品はほぼ存在せず。西陣織などもシルクは高くて使えないと化粧を使った安く織が取り入れられる文具などの商品を紹介し、ラインへの転換で販路を見出そうとしている状況でした。全体的に販促商品の売り込みなので「安く簡単に作れる」に触れ込みとした比較的小ロットも視野に入れてどこも探っているのかなと、最小ロットを質問してもお客様の反応を見て検討しようと思っているなどの回答もあり強気な売れそう！と思える商品は正直見当たらないという感想です。ですが、地産の伝統工芸品関係の商品は変わらず高額な商品で、〇〇塗などの地産でもそれぞれのお店で特徴をつけた差別化を図って同じ展示エリアで並べても違いがある面白さがあったので、地産シルクとして売り出すのであればわざとでも特徴をつける必要はあるかなという気はします。

もう一ひねり加えたらどうにかならないかなと思ったのは、手ぬぐいを絵画風に額に入れるアイデア。確かに手ぬぐいは絵柄がステキであれば飾りたいし、飾っても絵になるというのは凄く理解できるのですが、このデメリットは額が割高になるので、販売自体では額に入れた状態を商品とするのは割高になるということ。そうなると買った人が自分で額に入れるかと言ったら、なかなか難しく難易度があがる。これはあくまで展示ディスプレイだから額に入れて売ろうと考えているわけではないとは思いますが、何か惜しい気持ちになりました。



もう一つは比較的小ロットでさらに手足に針金のようなものが入っているので形を変えられたり、着せ替えが出来るオリジナルぬいぐるみ。比較的単価も安くカラーバリエーションもできるそうで。

私の思いついているアイデアをここで書いてしまうと公開状態になってしまうので詳細は控えますがインスタのコメントを見ているシルク製品と言う前にお蚕さんに興味を持ってくれる、カワイイ、懐かしいという方が現れるのでお蚕さん自体をフォーカスし、その副産物をシルクの糸・製品とする売り込みもありなんじゃないかなと思いはじめました。



最後に渋沢栄一が貼ってあり深谷市とまで書いてあるのでゆかりのある何かをしているのかと思いきや、関係ないそうです。ですが、渋沢栄一にお札が切り替わった今インパクトはあり、つい何かあるのかなと見てしまいました。まさにそういう理由で貼っていたそうです。ある意味うまい呼び込み方法でした。

